

# 平成 29 年度事業報告書

## < 情報提供事業 >

### ○楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行

毎月発行で 142 号から 153 号まで計 12 回発行した。イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方や B-Net 子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。

現在、町内 2 つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SEND0)や JR 酒々井駅、公共施設(酒々井役場、酒々井町中央公民館、プリミエールなど)、社会福祉協議会、井戸端、みんなの居場所 KOKO などに配布させていただいている。

内 容	実施日	収 入	支 出	
情報紙 楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行	毎月 1 回 1500 部発行	0	情報紙用紙代	34,338
			印刷代	29,680
	合 計	0		64,018

### ○ホームページの運営

内 容	実施日	収 入	支 出	
インターネット	随時	0	アサヒネット	55,728
	合 計	0		55,728

### ○B-Net 掲示板

B-Net 子どもセンターのフェンスに設置している B-Net 掲示板を活用し、イベントの告知や町のイベントのポスターを掲示した。B-Net の活動に参加して下さっている子どもの保護者だけでなく、地域の方々に情報を提供することができた。今年はポスターをほぼ毎回のイベントで作成し、広報活動に力を入れた。多くの子どもや保護者の方々にイベントや B-Net のことを知っていただき、木曜日の B-Net 子ども教室アッタくんの登録者数やイベントへの参加数を増やすことができた。

## < 子育て支援事業 >

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として 2000 円(子ども教室運営費 1200 円、年間保険料 800 円)を徴収した。登録者数は 28 人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間は平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで適用され、保険加入者数は 32 人であった。

		収 入	支 出
B-Net 登録人数	28 人	33,600	
スポーツ安全保険加入	32 人	25,600	26,566
スポーツ安全保険加入スタッフ	19 人		30,038
合 計		59,200	56,604

## § 自然体験・文化体験・宿泊体験

平成 23 年から小学校で新たな学習指導要領が導入された。B-Net もその中に記載されている「生きる力」の育成を目指し、様々なイベントを行うことができた。イベントの内容は、自然体験としてたけのこ掘り、田植え(雨天中止)、稲刈り、芋掘り、収穫祭を行った。文化体験として、料理教室、クリスマスイベントや正月イベントを行い、宿泊体験として夏合宿、星空合宿を行った。それぞれのイベントでは実際に体験、経験してもらうことを重視し、新たな気づきや知識を得られるように企画運営を行ってきた。少しでも子どもたちの中に残るものがあつたら幸いである。またスタッフも子どもたちや地域の方々とふれあえたこと、イベントを運営したという自信をもてたなど、貴重な経験をさせていただいた。

4月たけのこ掘り、5月田植え(雨天中止)、6月料理教室、8月夏合宿、9月稲刈り、11月芋掘り、12月クリスマスイベント、1月お正月、2月星空合宿に関しては子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた。

### 《子どもゆめ基金助成金事業》

内 容	実施日	収 入	支 出	収支
ほれほれ！たけのこよっこいしよ(たけのこ掘り)	4月29日 参加小学生19人 幼児2人 保護者6人	42,250 14,570	56,820	0
みんな！田んぼでどろんこ隊	5月14日(雨天中止) 参加小学生0人	33,441 0	45,766	-12,325
B's キッチン	6月17日 参加小学生18人	32,392 10,080	42,472	0
みんなで！稲を刈り取り隊	9月24日 参加小学生8人 幼児2人 保護者5人	40,312 8,080	48,392	0
ホクホクおいも大搜索！	11月3日 参加小学生8人 幼児1人	35,070 4,610	39,680	0
みんなで！お米を味わい隊	11月23日 参加小学生19人 幼児6人 保護者14人	33,096 20,450	53,546	0
B-Net クリスマスパティー	12月17日 参加小学生16人	32,581 13,340	45,921	0
今年は成年！ワンダフル B-Net	1月8日 参加小学生6人 幼児2人	20,316 4,010	24,326	0
輝け！B-Net 星空調査団	2月17日～18日 参加小学生13人	78,000 70,480	157,956	-9,476
B-Net 子ども教室アツタくん	4月～3月の夏休み、冬休み 春休みを除く、毎週木曜日 38回。登録人数28人	215,000 56,000	295,575	-24,575
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	562,458 201,620	810,454	-46,376

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金(収穫祭、お正月、星空合宿、B-Net 子ども教室アツタくんは確定されていないので変更有り)。下段は参加費、保険料など

## 《それ以外の事業》

内 容	実施日	収 入	支 出	収支
B-Net わくわく夏合宿	8月28日～30日 参加小学生35人	350,000 2,310	303,934	48,376
スペシャルアッタくん	3月3日 参加小学生21人	630	4,108	-3478
	合 計	352,940	308,042	44,898

### ○ B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度の B-Net 子ども教室は「放課後に子どもたちが安全に、そして安心して遊べる“居場所”をつくること。また、子どもたち自身でルールを考えて遊びを展開するために、創造性や協調性を養う」ということを目標に活動を行ってきた。B-Net 子ども教室アッタくんは、これまでの活動の成果ともいえるように、最近では多くの地域の方々を知っていただくことができています。そのため、学生だけではなく、その他多くの地域の方々に見守られながら活動することができ、子どもたちが安全に安心して遊べる環境とすることができた。また、アッタくんでは学年に関係なく集まる子どもたちが、自分たちで交流し友だちの輪を広げている。その中で、子どもたち同士が互いに影響し合い、自主性や協調性、人間性を育みながら活動を展開することができた。

B-Net 子ども教室アッタくんでは、小学生と大学生、さらに地域の方々という普段の生活ではなかなか関わるることができないような交流を実現している。子どもたちにとってお兄さん、お姉さんと遊ぶことや地域の方との交流は新しいことの連続であり、とても良い経験になっているのではないだろうか。また、私たち大学生にとってもここでの活動から考え、学ぶことは多く、周囲の人々から良い刺激を受けながら、日々努力し、活動を展開することができた。1年間という長いスパンで子どもたちと関わるができるため、小さな変化や成長を感じ取り、喜びながら活動することができた。

また、今年度は子どもゆめ基金から 215,000 円（未確定）を助成していただくことができた。

毎週木曜日放課後から 17 時まで 38 回運営。 年間 約 600 人参加

場所：B-Net 子どもセンター 平均： 12 名参加 （平成 28 年度は平均 34.3 名）

### 《活動写真》



## ○放課後子ども総合プラン 酒々井町放課後子ども教室

放課後子ども総合プランとは放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業のことで地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、他学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

平成 19 年 10 月から酒々井町で放課後子ども教室事業が始まった。平成 20 年より町から委託され、企画・運営を行ってきた。28 年度は、幸い大きなけががなく運営することができた。来年度もスタッフの安全管理を徹底し、けがの防止に努めながら活動を行っていききたい。

スタッフが少ないという実態はあまり変わらないが、地域の方々と協力して活動することができた。今年度も地域の方々にたくさんの教室を開いていただき、充実した活動を提供することができたと思う。

また、冬期期間は昨年度同様、活動時間を短くして行った。日が落ちる時間を考え、子どもたちを早めに帰らせることで、子どもたちの安全を守ることもできたと感じる。

今後も子どもたちに様々な体験・経験をしてもらえるよう、安全に配慮しながら運営していききたい。

### 【活動日時・場所】

#### ●酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）

毎週火曜日放課後～午後 5 時まで（10,2,3 月は 16 時 30 分まで。11,12,1 月は 16 時まで）

#### ●大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム）

毎週月曜日放課後～午後 5 時まで（10,2,3 月は 16 時 30 分まで。11,12,1 月は 16 時まで）

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数 32 回、参加人数のべ 1,307 人 バレーボール教室、折り紙教室、造形教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、手作りアクセサリー教室、ミュージックベル教室
大室台小学校	開催日数 25 回、参加人数のべ 1,190 人 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、ミュージックベル教室

今年度は、折り紙教室で制作したものを、町の文化祭に出展したり、ミュージックベル教室に参加した子どもたちが、町のクリスマスコンサートに出演するなどの新しい試みがあった。

また、11 月には「第 5 回 輝く創年とコミュニティ・フォーラム」の分科会で発表の場をいただき、地域の方々と交流することができた。

2 月に放課後子ども教室参加者(子ども、保護者、教職員、指導員)を対象にしたアンケートを実施し、4 月はじめに酒々井小学校、大室台小学校両校の教頭先生、酒々井町役場子ども課の方々、スタッフの代表数名で 29 年度の反省と 30 年度への改善点などを話し合った。

## <町づくり等事業>

### ○しすい駅フェス

毎年行われていた子ども夏祭りが中央台公園の工事で行えず、NPO 法人輝け酒々井まちづくり研究会主催の「しすい駅フェス」に協力しました。例年の子ども夏祭りと同様に子どもたちが協力してお祭りを作り上げるがコンセプトである。計6名の子どもスタッフが集まり、本番までに3回の子ども会議を行った。屋台の内容、外装、ルール、シフトなど高学年を中心に全員で考えることができた。JR 酒々井駅ロータリーで行った「しすい駅フェス」は幅広い年代の方に楽しんでもらい、子どもたちと地域がつながる機会になった。また子どもたちにとって仲間と協力して夏祭りを作り上げた経験は、かけがえのない夏の思い出になったことでしょう。

多くの地域の方々にご協力・ご支援いただきましたことを感謝申し上げます。

### ○エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）での健康体操教室

	実施日	活動内容
第95回	4月8日(土) 10:30~11:30	
第96回	5月7日(日) //	
第97回	6月24日(土) //	・タオル体操
第98回	8月27日(日) //	・手あそび唄
第99回	9月16日(土) //	・手足の運動をふまえたゲーム
第100回	10月28日(土) //	・風船バレー
第101回	11月25日(土) //	・季節に合わせた歌の合唱
第102回	1月27日(木) //	など
第103回	2月27日(土) //	
第104回	3月23日(火) //	

エコトピア酒々井で毎月1回のペースで健康体操教室を開催した。毎回20名程度の利用者・入居者のお年寄りの参加があった。タオル体操、手あそび唄、手足の運動をふまえた季節ごとのゲームや季節に合わせた歌の合唱を毎月道具や準備物を工夫して行った。毎回明るく楽しい教室を展開することができた。今後も道具や準備物、内容もさらに工夫して「心と体の健康」をさらに増進していくプログラムを考えていきたい。

### ○順天堂大学裸祭りへの協力

内容	実施日
・中央台公園にて水鉄砲、水風船コーナーの運営を行った。	6月4日(日)

### ○千葉氏祭りに協力

内容	実施日
・中央台公園にて行われた「千葉氏祭り」スタッフとして参加。	10月1日(日)

## ○酒々井町スポーツレクリエーション祭に協力

内容	実施日
・午前、午後共に酒々井中学校の体育館で『昔遊びコーナー、アトラクションコーナー』の運営を行った。また綱引き大会にも参加した。	10月8日(日)

## ○すいすい倶楽部主催の「新酒祭」への協力

内容	実施日
・飯沼本家で開催された新酒祭に参加、テントなどの物品の協力	11月19日(日)

## ○盛年式に参加

内容	実施日
・60歳を迎える方々のお祝いをするとともに、B-Netの活動について紹介した。	2月25日(日)

## ○酒々井小学校 餅つきに協力

内容	実施日
・酒々井小学校5年生が行う餅つきに協力。餅つきの補助などを担当。	12月8日(金)

## ○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月11日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の1%がその団体に贈られるというものである。全ての活動日に参加し、レシートを集めた。9月に28年度前期12,500円いただき、4月に後期分22,600円いただきました。前期分は児童図書購入。後期はスポーツ用品などを購入。

## ○Gap Inc. 助成金

月1イベントに来てくださっているバナナリパブリック酒々井店の皆さんが親会社であるGAPから表彰された経緯により、Gap Inc. から500\$（52,915円）の助成金をいただくことになった。

## ○月間福祉2017年4月号掲載

全国社会福祉協議会出版部から毎月出版される『月間福祉』、「人と人をつなぐ実践」というコーナーにて、取材、掲載を受けた。